

第2回「市民参加懇談会 in 東京」開催計画 (案)

1. 開催趣旨

原子力に対する国民との信頼関係を確立するには、原子力関係者が安全確保を大前提に、着実に安全運転の実績を積み重ねていくことが不可欠である。そのような中で、なぜ、東京電力(株)の自主点検作業記録に不正記載という問題が起こったのか。どこに問題があるのか。徹底的な情報公開、透明性の確保とは。という観点から、広くご意見をうかがう。

2. テーマ 「知りたい情報は、届いているのか」(仮)

- 東京電力の不正記載を契機として -

3. 開催日時 平成14年11月19日(火) 13:00~17:00

4. 会場 東京ウィメンズプラザ(定員200名) 東京都渋谷区神宮前5-53-67

5. 主催 内閣府 原子力委員会市民参加懇談会

6. プログラム

(1) 司会 原子力委員会事務局

(2) 挨拶および報告 市民参加懇談会 木元座長

報告：東京電力(株)の自主点検作業記録の不正記載について
東京電力(株)や経済産業省原子力安全・保安院は求められたときに説明

(3) 第1部 パネルディスカッション(約1時間30分・予定)

[パネリスト(予定)]

清水鳩子 氏	主婦連合会副会長
住田健二 氏	大阪大学名誉教授(前原子力学会長)
田岡俊次 氏	朝日新聞編集委員、 「AERA」シニアスタッフライター

[司会・進行(予定)]

中村浩美 氏	科学ジャーナリスト
--------	-----------

- 休憩(15分) -

(4) 第2部 会場参加者からご意見を聴く会(約2時間・予定)

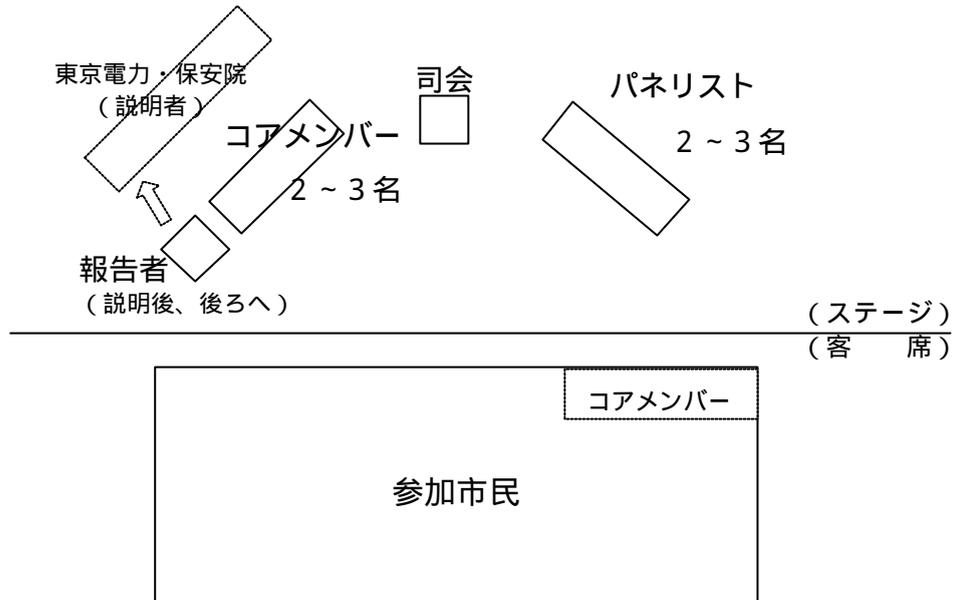
[司会・進行] 調整中

[コアメンバー(予定)]

碧海西葵 氏	消費生活アドバイザー
井上チイ子 氏	生活情報評論家(NPO法人 暮らし、 環境、エネルギーネット理事長)
小川順子 氏	WIN-Japan会長
加藤秀樹 氏	構想日本代表
中村浩美 氏	科学ジャーナリスト
吉岡 斉 氏	九州大学大学院比較社会文化研究院教授

進め方のイメージ(案)

- 第1部** 報告者からの今回の事実経過の説明後、パネリストから意見発表。
パネリストの意見発表後、コアメンバーとパネリストが意見交換する。



他のコアメンバーの方々は、2部のために参加市民と一緒に傍聴。

- 第2部** 第1部の意見を聞いた会場参加市民より発言を求め、意見交換の場とし、コアメンバーが対応する。

